

知井保育所 園児数の現状と今後

年度 年齢	H31/R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023
1	1	3	1	1	0
2	1	2	4	2	0
3	5	1	2	4	2
4	0	5	1	2	4
5	3	0	5	1	2
合計	10	11	13	10	8

※2023年以降は、保護者会の調べによる。

・R3より3～5歳児はバスでみやまこども園へ移動し、みやまこども園での合同保育を受けています。

・新たな出生、転入の見通しが無い中、来年度は知井で通常保育する子どもがなく、今後も非常に人数の少ない状況が予測されます。



保護者のおもい

- 園児数が減少することにより施設が無くなることへの不安（休園、廃園により地域の活気がなくなる）
- 知井ならではの自然豊かな環境で、今後生まれてくる子のためにも保育施設は残したい
- 知井ではわからなかった集団保育の良さを実感し、子どもへの学びへの必要性も感じる
- みやまこども園までの送迎の負担感は重い
- 早朝や延長保育は知井で利用したい



保護者会と市との懇談

- 毎年、保護者と市が情報を共有し、「今後の知井の子ども達にとって最善の環境をどのようにつくっていくのか」について話し合ってきました。
- 今年度はバスの継続と保育時間の確保について保護者から要望がありました。



今後の方向性について

● 園児数減少への当面の対策

- 知井地区の子どもの人数が減少する間、3歳以上児のみやまこども園での合同保育を実施する。バス移動は当面継続予定。

- ◆ 園の運営の実情に合わせて、知井保育所をみやまこども園の分園とし、地域の子育ての拠点として、今後も持続する。



● 検討課題

保育人材不足の解消と職員
の適正配置

- 早朝・延長保育の実施
- 園運営に係る経費維持

施設の管理運営

- 保育施設基準の遵守
- 災害や緊急時の対応

